

保育者養成校短期大学生の気になる子どもに対する 個別の保育・指導計画の立案までの過程

○矢野善教

（作新学院大学女子短期大学部幼児教育科）

KEY WORDS: 気になる子ども 個別の指導計画 保育者養成

（目的）

近年保育の現場では、いわゆる「気になる子」の理解と支援のあり方について関心が高まっている。「気になる子」とは、「調査時点では何らかの障害があるとは認定されていないが、保育者にとって保育が難しいと考えられている子ども」（本郷ら, 2005）、「発達障害児を含めた、保育現場で保育者が気がかりになる子」（日高ら, 2008）で、保育上何らかの課題がある子どもを表現する際に用いられている。実習を終えた学生の話題の一つとして、「気になる」子どもの話がある。

本研究の目的は、保育・教職実践演習（幼）の授業において実践した気になる子どもに対する個別の保育・指導計画を作成まで経過を報告することとした。報告によって得られた知見を今後の障害児保育および特別支援教育関係の科目の向上につなげていきたいと考える。

（方法）

1. 参加者

A 短期大学の 2 年生 128 名を対象とした。

2. 活動の流れ

11 月 9 日：気になる子どものリストアップ

幼稚園実習・保育所実習・施設実習で出会った園児や利用者様の気になる行動をリスト化した。

11 月 23 日：個別の保育・指導計画立案

気になる行動に挙がった園児や利用者様を 1 人選定し、個別の保育・指導計画を立案した。立案に当たっては図 1 の「気になる行動の ABC 分析」を想定し、行動のアセスメントを実施した。

ABC 分析後、「行動目標」「具体的な指導方法」「教材」を考える時間とした。

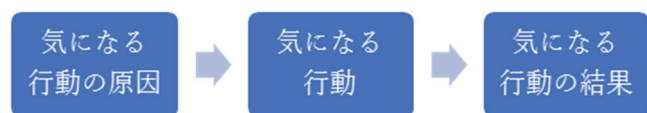


図 1：気になる行動の ABC 分析

12 月 7 日：個別の保育・指導計画のポスター作成

個別の保育・指導計画を作成後、他者への説明をするためのポスターを作成した。ポスター作成に当たっての留意点は、①文章は少なくする、②目で見て分かるを意識させ、絵や図を有効活用することを指示した。

12 月 14 日：12 月 21 日：ポスター発表

ポスター発表は、保育・教職実践演習（幼）の授業時間に実施した。壁面に一人ずつポスターを貼り、学籍番号の偶数と奇数に分かれた。説明する学生は、設定された責任在籍時間で説明を聴きにきた学生に対応した。その後、ベストポスター発表者を学生の投票により、選出した。

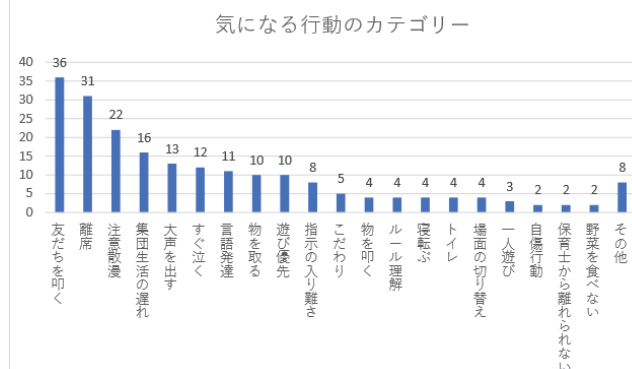
3. 分析方法

参加者が作成した個別の保育・指導計画の「気になる子」の行動特徴について KJ 法（川喜田, 1967）を用いて、まとめた。

4. 倫理的配慮について

気になる行動を示す子どもについては、個人が特定されない形でまとめるよう配慮した。また、参加者のデータの使用は、個人が特定されない形でまとめることを授業内で伝え、承諾を得た。

（結果）



KJ を実施した結果、「友だちを叩く」が 36 件と最も多く、次いで、「離席（31 件）」「注意散漫（22 件）」「集団生活の遅れ（16 件）」と続いた。

学生は、「友だちを叩く」の他、「大声を出す（13 件）」「物を取る（10 件）」など人に対するトラブルに関わることに注目していることが示唆された。また、離席や注意散漫、集団生活の遅れなど集団活動に関連する保育全体の動きを観察していることが示唆された。さらに、「言語発達（11 件）」や「一人遊び（3 件）」など言語に関連することに注目していることもうかがえる。その他、少数ではあるが、「トイレ」や「野菜を食べない」など身辺自立に関連することも散見された。

今後は、これらの気になる行動に対するアプローチを学生がどのように立案しているのかを分析していくことにより、学生の気になる行動を示す子どもたちの関わり方や支援の実施方法を検討していきたい。

（文献）

日高希美・橋本創一・秋山千枝子（2008）. 保育所・幼稚園の巡回相談における「気になる子どものチェックリスト」の開発と適用. 東京学芸大学紀要総合教育科学系, 59, 503-512.

本郷一夫（2005）. 「気になる」幼児とは. 言語, 34(9), 42-49.

川喜田二郎（1967）発想法. 中央公論社.

（Yoshinori Yano）